

# 安全のために「毎回」列車が遅れる...

## 会社の安全対策は必要ないのか？

安全のためなら列車を遅らせてもいい、乗務員であれば必ずこの言葉を聞いたことがあると思います。確かに、定時運転よりもお客さまの安全を優先させるべきという点においては間違いないでしょう。車掌を例に話を進めますが、その日、たまたま日差しが強くて信号が見にくい場合、ホームのＩＴＶが故障していた場合等、異常時には、いつも以上にゆっくり時間をかけて安全確認を行う必要があります。

しかし、もともとホームが狭く、先頭車付近がカーブになっていたりして、乗降、安全確認が困難な駅はありませんか？会社への提案で、○○駅にＩＴＶを設置してほしい」等のご意見を出したことはありませんか？それ以降、何か改善されましたか？

安全確認に時間をかけることは大切です。しかし、毎回、列車が遅れるのが分かっている、会社は、何も対策を取らなくていいのでしょうか？すべてを乗務員の責任にするのではなく、安全のためにコストをかけること」も必要なのではないでしょうか？

## お客さまは何を求めているのか？

会社は日頃から「お客さま目線」を強調していますが...そもそも、お客さまは、私たちに何を求めているのでしょうか？安全にかつ時間通りに目的地まで送り届けてもらうことではないでしょうか？

豪華な観光列車で、上質な空間を提供することも一つのサービスですが、大半のお客さまは、通勤、通学等、移動の手段」として列車を利用されます。

ここ最近、信号や線路等にトラブルが発生し、列車が遅れ、お客さまに迷惑をかけるという事象が続いています。人件費削減等の合理化と、こういったトラブルは無関係なのでしょうか？

お客さま目線に立つのであれば、JRの本質的なサービスである「安全安定輸送」を重視しなければいけません。お客さまの信用を失わない為にも、必要なところにはお金をかけなければいけません。

この間の信号トラブルのとき、お客さまから怒られた...



連続した事故は個人だけの問題ですか？



# 若いカ

第 68 号

2017年 4月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515